

令和6年度麻布大学同窓会山形県支部総会開催報告

令和6年6月30日(日)に山形市内ホテルにおいて、令和6年度麻布大学同窓会山形県支部総会を開催いたしました。

今回は、同窓会本部から風間啓助教をお招きし、大学の近況、特に獣医保健看護学科新設の背景を取り上げていただき、



現在の大学の状況を非常に詳しくご講演いただきました。動物医療センターの飼い主や来院動物へのトータルケアを考慮した大規模な増改築や産業動物臨床教育センターに導入されている最新機器、「麻布出る杭プログラム」などなど、非常にわかりやすい内容でした。講師の風間先生は若い世代の会員との親和感が好ましく、非常に良い雰囲気の中での講演会となりました。

今回の講演会を含む総会は、支部会員58名中17名の出席があり、各支部でも取りざたされている出席者が少ないという憂慮感はぬぐうことはできませんが、コロナ禍からの流れを見ればよい感触です。また、今回は支部長、事務局が交代し、これから新しい体制で同窓会事業にも期待が持てます。年配の方の経験豊かがかつ重厚な中に、若手のオープンな交流場面を見るにつけ今後の会の運営にも希望がもたれるような会となりました。

会議は5年度報告並びに決算と6年度の計画並びに予算、会費の賦課について上程いたしました。内容的には主だった事業もなかったことから滞りなく承認されました。

総会終了後の懇親会は、例年会員の方が提供されている高級日本酒も振舞われ、世代を感じさせない和やかな時間を過ごすことができました。若手数名の参加がもたらしたより活気にあふれる会は時間とともに終了を迎え、新支部長の元、令和6年度の麻布同窓会山形県支部事業がスタートしました。

最後になりましたが、本部からお祝い金をいただき感謝申し上げます。

(報告：前事務局 高橋昭一)

